

一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX03-5405-8201
ホームページアドレス ; <http://www.ena.or.jp/GEC/>
E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 321 号/2016.6

Index

- ENAA 研究成果発表会 2016 開催のお知らせ
- 平成 28 年度 研究企画ワーキンググループ
の活動方針について
- 会員の皆様へのお知らせ
 - 日帰り見学会参加者募集のご案内(予告)
 - 新任挨拶

■ ENAA 研究成果発表会 2016 開催のお知らせ ■

7 月 4 日(月)～5 日(火)の 2 日間にわたり、
「ENAA 研究成果発表会 2016」を開催致します。

本成果発表会は、当協会における主として平成
27 年度の事業における委員会、研究会等での研
究成果を発表いたしますので、是非多数の方々に
ご参加いただきたくご案内申し上げます。

1. 会期：平成28年7月4日(月)～5日(火)の2日間
地下開発利用研究センター発表は、
7月5日(火) 13:00～17:10
2. 会場：当協会 会議室
3. 参加費：無料
4. 定員：120名(定員になり次第締め切ります)
5. プログラム：

下記 4 つのセッション・センターからの発表

7月4日(月)

1. 企画渉外部セッション
2. 技術部セッション

7月5日(火)

3. 石油開発環境安全センター
4. 地下開発利用研究センター

(地下開発利用研究センター部門のみ次ページ
に詳細プログラムを掲載)

6. 申込み要領：

- ① 下記 ENAA ホームページよりお申し込み下
さい。

(<http://www.ena.or.jp/seminar/23003>)

- ② プログラム選択にて、参加希望のセッションの
チェックボックスにチェックを入れて下さい。
- ③ 申し込み者が定員を超える場合は締め切らせ
ていただきますが、参加登録できなかった場
合に限りご連絡致します。

なお、申込者多数のセッションについては、
申込者の多い企業に調整をお願いする場合が
ありますことを予めご承知お願います。

- ④ 申込締切日：平成28年7月4日(月)

- ⑤ 問合せ先：地下センター 中村

TEL 03-5405-7203

FAX 03-5405-8201

7月5日（火）	
地下開発利用研究センター部門 開会の挨拶 13:00（奥村所長）	
F-1 <13:05～13:40>	「地下開発利用研究センター 平成27年度活動報告と今後の展開」 百田 博宣（（一財）エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター 技術開発部長）
F-2 <13:40～14:00> 自主事業	「小規模地熱発電・熱水活用研究会」報告 宮本 昌彦（（一財）エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター 主任研究員）
F-3 <14:00～14:20> 自主事業	「水素輸送・貯蔵研究会」報告 青木 貴均（㈱安藤・間 技術研究所 先端・環境研究部 主任）
F-4 <14:20～14:40> JKA補助事業	「離島における地熱資源の活用可能性調査」報告 百田 博宣（（一財）エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター 技術開発部長）
F-5 <14:40～15:00> 受託事業	「地熱開発理解促進事業に係る学習会・先進地見学会及び熱水活用検討業務」報告 白鳥 英二（千代田化工建設株式会社 調達ユニット 元（一財）エンジニアリング協会 地熱プロジェクト推進室 主任研究員）
休 憩 10分	
F-6 <15:10～15:30> 受託事業	「地熱開発理解促進事業に係る熱水利活用のための調査及び地元協議を踏まえた計画業務」報告 宮本 昌彦（（一財）エンジニアリング協会 地熱プロジェクト推進室 主任研究員）
F-7 <15:30～15:50> 受託事業	「地熱発電所と地域との共生に関する検討業務」報告 上田 正人（（一財）エンジニアリング協会 地熱プロジェクト推進室 主席研究員）
F-8 <15:50～17:10> JKA補助事業	「国土強靱化に資する地下空間利用の調査研究」報告 （第1部会）「情報通信基盤に関する調査」 西村 毅（㈱安藤・間 技術本部 技術研究所 土木研究部 主席研究員） （第2部会）「産業エネルギー基盤に関する調査」 中山 洋（佐藤工業㈱ 土木事業本部 営業部 部長） （第3部会）「都市生活基盤に関する調査」 平野 孝行（西松建設㈱ 土木事業本部 土木設計部 部長） （第4部会）「交通網基盤に関する調査」 吉富 幸雄（大成建設㈱ 土木本部 土木技術部 トンネル技術室 参与）

■平成28年度 研究企画ワーキンググループの活動方針について■

平成28年度第1回ワーキンググループ<リーダー：青木 智幸氏 大成建設㈱>が、5月17日(火)に開催されました。

協会挨拶、青木リーダーの挨拶、各委員の自己紹介の後、青木リーダーの司会により議事が進められました。本年度の委員は、大成建設㈱(リーダー)、㈱安藤・間(新任)、㈱大林組、鹿島建設㈱、川崎地質㈱、㈱熊谷組、JX金属㈱(新任)、清水建設㈱、新日鐵住金㈱、㈱ダイヤコンサルタント、㈱竹中工務店、㈱地球科学総合研究所、電源開発㈱、東急建設㈱、東洋エンジニアリング㈱(新任)、前田建設工業㈱、三井住友建設㈱、㈱三菱地所設計の新委員3名を含む18社から参加しています。

議題と議事内容の概要は、以下のとおりです。

1. 平成28年度地下センターの年間活動計画
2. 平成28年度研究企画ワーキンググループ活動方針
 - ・地下空間利用の優位性を見直し、公益的役割と会員企業のメリットのバランスをとりながら将来テーマの立ち上げを検討する。
 - ・下記4. に示す6つの研究会の活動をフォローし、それらの成果発表の場を設けるとともに、社会的要請や科学技術の革新を調査・検討して調査研究テーマを絞り込む。
 - ・ICT技術を使うスマートインフラ及びICTを利用した分野間の最先端技術の動向を整理する。

3. 平成28年度地下センター事業一覧

4. 平成28年度研究会活動計画

6つの研究会ごとに活動計画(案)が示され、内容について討議が行われました。また、各研究会の進捗状況を見つつ審議テーマを調整し、10月中旬頃に活動内容の実績を報告してもらうことを確認しました。

- ①放射性廃棄物研究会
- ②小規模地熱発電・熱水活用研究会
- ③計測技術研究会
- ④老朽化インフラ対策研究会
- ⑤水素輸送・貯蔵研究会
- ⑥エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会

5. 地下利用推進部会の募集についての報告

4つの部会合わせて30社43名の委員が決まりました。

- ① 地下歩道ネットワーク整備による快適な社会に関する調査研究(第1部会)
- ②エネルギー施設の強靱化に関する調査研究(第2部会)
- ③地下の立体的利用による都市生活基盤の整備に関する調査研究(第3部会)
- ④交通網施設の強靱化に資する地下空間利用に関する調査研究(第4部会)

6. その他

第2回ワーキンググループは平成28年7月15日(金)に開催されます。

■会員の皆様へのお知らせ■

□日帰り見学会参加者募集のご案内(予告)

地下開発利用研究センターでは、平成28年度第1回目の日帰り見学会を企画いたしました。見学会の詳細はこれから訪問先と相談して決めて参りますが、まずは日帰り見学会の参加募集に

ついてご案内の予告を致します。

詳細決定後、会員連絡窓口担当者にご連絡いたしますので、ご検討の上お申し込みにたく、宜しくお願いいたします。

1. 期 日 : 8月2日 (火)
2. 見 学 先 : 東京メトロ東西線南砂町駅改良土木
工事 (非常に珍しい大規模掘削によ
る路線及びホーム増設工事です!)
3. 行 程 : 15:00見学会開始 (概要説明・施設
見学) ⇒17:00頃現地解散
4. 定 員 : 25名程度
5. 参 加 費 : 無料 (交通費は、すべて各自負担と
します)

□ 新任挨拶

中山 等 (技術開発部 研究主幹)



5月1日付けで、鹿島建設株式会社より地下開発利用研究センターに着任いたしました中山 等と申します。入社以来、コンクリート橋梁の設計・施工及び研究開発、地下発電所の設計、LNG 地下タンクの設計及び研究開発、地下駐車場の施工、工場跡地の汚染土壌・地下水処理などに携わってきました。

□ 新任挨拶

深山 浩一 (技術開発部 研究主幹)



5月1日付で、地下開発利用研究センターに着任いたしました深山(みやま)と申します。日揮(株)より参りました。機械工学出身で、1990年の入社以来、タイ、マレーシア、インドネシア、カザフスタン、アメリカ等々の海外石油化学プラント建設のプロジェクトに関わり、主に圧力容器の設計から施工に携わってきました。

6. 参加方法 : 後日、会員連絡窓口担当者に送付します申込用紙に所定事項をご記入の上、メールまたはFAXにて事務局までお申込下さい。
7. 連絡・問合せ先 : 地下センター 中山、中村
TEL 03(5405)7203
FAX 03(5405)8201

最近ではプロジェクトマネジメント国際標準化委員会活動やインフラ維持管理・更新・マネジメント技術の研究開発を担当してきました。

地下開発利用研究センターでは、主として地下利用推進部会、水素輸送・貯蔵研究会、老朽化インフラ対策研究会等を担当いたします。皆様方のお役に立てるよう努めてまいりますので、ご指導とご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

このたび、地下開発利用研究センター技術開発部に勤めさせていただく機会を得て、エンジニアリング産業と社会の発展に貢献する研究開発とプロジェクトの創造に向け、研鑽を積んでゆく所存です。これまでとは全く異なる業務内容、環境に戸惑いつつも、一日でも早く当協会に貢献できるよう業務に邁進したいと思います。皆様のご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。